

江戸川区公共施設整備における民間活力導入指針【概要版】

1. 策定の背景・目的

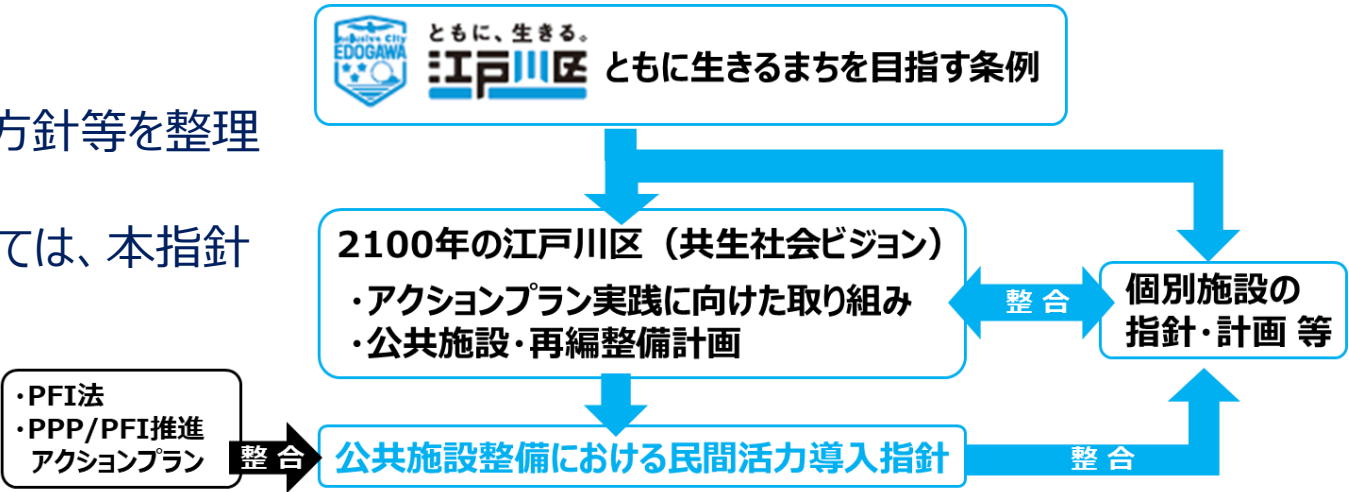
本区では、2100年に向けて予測される人口減少に合わせて施設再編を行い、施設総量の適正化を実現するとともに、「生きがい」や「人とのつながり」を育む環境整備にも取り組むこととしています。これからの公共施設整備において、国・江戸川区・民間事業者が各々持つ視点の整合を図りながら、区民福祉の向上、持続可能な財政運営、さらなる価値創造を実現していくため、本指針を策定します。

立場	視点	イメージ
国	地方自治体に対し、公共施設の整備において、官民連携手法の導入を優先的に検討するよう要請	国 要請 地方自治体 (背景)人口減少・少子高齢化 (課題)持続可能な行政サービスの提供 江戸川区 (課題)健全財政の維持と 新たな施設整備との両立 民間事業者 (企業動向) 社会的価値 向上への 取組み強化 官民連携 事業
江戸川区	現在の健全財政を維持することを前提に、人口減少に合わせた施設再編を行いながら、「生きがい」や「人とのつながり」を育む環境整備に取り組む	
民間事業者	“環境”や“社会”などに貢献する分野に資金を投入し、自らの社会的責任を果たし、企業価値の向上につなげる	

2. 本指針の位置づけ

本指針は公共施設整備における民間活力の導入について、基本方針等を整理するものです。

また、個別の公共施設整備に関する指針・計画等の策定に当たっては、本指針との整合を図るものとします。



3. 検討の経緯

公共施設整備における民間活力導入については、以下のように検討を進めてきました。

民間活力導入について区民及び有識者からご意見を頂きました

① 『江戸川区公共施設再編・整備計画』
（令和5年12月策定）
・区民ワークショップ、有識者意見聴取、パブリックコメントを実施

② 『アクションプラン実践に向けた取り組み』
（令和6年12月広報特別号）
・区民アンケート、関係団体への説明、パブリックコメントを実施

江戸川区公共施設整備における民間活力導入指針【概要版】

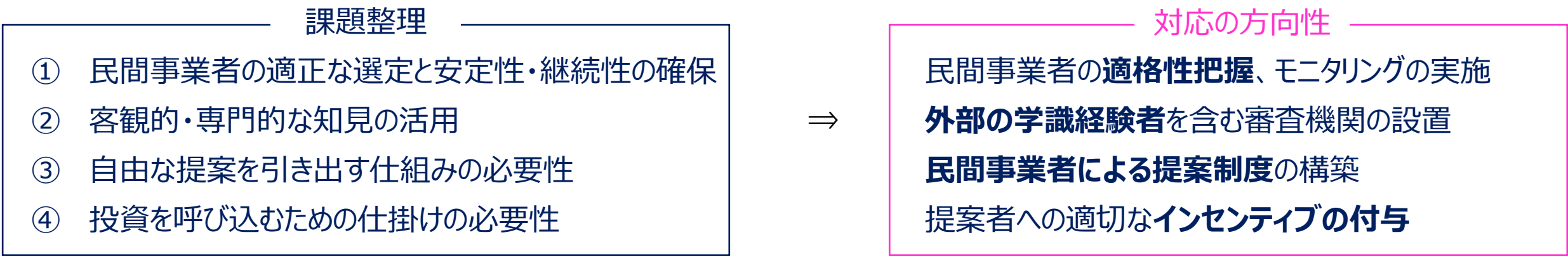
4. 民間活力導入における基本方針

これまでの検討経過を踏まえ、公共施設整備における民間活力導入の基本方針を整理しました。

5つの基本方針	概要
行政サービスの価値を高めること	区民・利用者の利便性・満足度の向上等、 区民福祉の向上 が図られること
区と民間事業者の双方が持続可能であること	区の財政負担の軽減 とともに、民間事業者にとっても 経済的メリットを確保
区と民間事業者が対等な関係であること	区と民間事業者の メリットの均衡 を図ること
区と民間事業者の責任分担が明確化されていること	円滑かつ持続的な事業実施のため、区と民間事業者の 責任分担を明確化
公平性・透明性が確保されていること	適切な意思決定プロセス と民間事業者のノウハウの保護を両立

5. 民間活力導入における課題整理と対応の方向性

公共施設整備において民間活力を導入する際にはいくつかの課題が考えられ、それぞれの課題に対する方向性を定めます。



6. 今後の推進方策

基本方針と課題に対する対応と方向性を踏まえつつ、民間活力の導入に向け、以下の取り組みを進めます。

- ① 民間の提案を広く募るため、民間提案制度の構築・運用に取り組みます。
- ② 民間事業者等がCSR活動の一環として取り組む寄附に着目し、メリットの発信等により、その獲得に努めます。